

6部

10月新入生の方へ



1 // 10月新入生の方へ

通信教育での学習は、①レポートを作成する、②スクーリングを受講する、③科目修了試験を受験する、の3つが基本です。『学習の手引き』p. 2～16に、学習や単位修得の基本がコンパクトに記載されています。よくお読みください。

印刷物を読んでも通信教育部での自学自習の進め方に不安のある方は、新入生向けの学習ガイダンス、またはレポート学習会にご参加ください。これから実施されるものはp. 45のとおりです。

不明点があれば、『学習の手引き』p. 15～16の方法で通信教育部までご連絡なくお問い合わせください。

2 // 新入生の方に受講をお奨めしたいスクーリング

スクーリングは履修登録をしている科目ならば、どの科目からでも受講していただいてよいものですが、11/2～1/13のスクーリングのなかでとくに下記の科目は最初のスクーリングとしてお奨めです。是非都合をつけて参加してみてください。申込みは本冊子4部をご覧ください。

(学習の仕方に戸惑っている方)

12/7・8 基礎演習 仙台

(社会福祉学科の方)

11/2～4 児童・家庭福祉論 仙台

11/2～4 社会福祉原論 東京(日野 明星大学)

11/16・17 福祉法学VTR 札幌

高齢者福祉論 東京(新宿 工学院大学)

- 11/30・12/1 福祉心理学VTR 仙台
 12/14・15 介護概論 仙台
 12/22・23 高齢者福祉論VTR 仙台
 12/21～23 地域福祉論 盛岡
 1/11～13 地域福祉論 仙台 障害者福祉論VTR 盛岡
 児童・家庭福祉論 東京（駒澤大学）
 社会福祉原論 札幌 心理学概論 仙台

(福祉心理学科の方)

- 11/2～4 心理学実験Ⅰ 東京（お台場 プラザ平成）
 11/23・24 特講・福祉心理学4（スクールカウンセリング） 東京
 （お台場 プラザ平成）
 11/30・12/1 福祉心理学VTR 仙台
 12/14・15 カウンセリング演習Ⅰ 仙台
 1/11～13 心理学概論 仙台

※1年次入学の方は社会福祉学科の方の科目もお奨めです。

※自宅のパソコンで受講が可能なオンデマンド・スクーリングの開講予定
 →『試験・スクーリング 情報ブック2013』p.49～50をご覧ください。

また、福祉の基礎知識があまりない方は、「保健医療サービス論」、「社会調査の基礎」、「公的扶助論」、「社会保障論」、「福祉行財政と福祉計画」の受講は最初のスクーリングとしてはあまりお奨めいたしません。

なお、ご自身の学習計画がある場合は、そちらに従ってください。

スクーリングは英語や演習科目を除いて事前にレポートを出さなくても受講できます。スクーリングの申込み期限や実施科目は『試験・スクーリング 情報ブック2013』p.4～5や4部に記載されています。

3 3年次編入学で社会福祉士取得希望者へ

3年次編入学で2年間で卒業・社会福祉士受験資格取得を希望する方は、「社会福祉援助技術演習A」のスクーリングを11/30、または来年5/31までに申し込んでください（受講申込条件あり；『学習の手引き2013』p.110参照）。

なお、「演習A」の開講日程が変更になっています（p.47参照）。

4 教職免許状取得希望の方へ

本冊子8部p.69～70をご覧ください。各科目の単位修得のために在宅web科目修了試験や会場科目修了試験の受験申込締切に合わせてレポートと申込ハガキを提出するように、ご努力ください。特別支援学校教諭免許状希望者は、12月下旬の「聴覚障害教育」「発達障害教育総論」のスクーリング受講もご検討ください。

5 学習ガイダンスを行います

各地で学習ガイダンスを行います。新入生を対象に『学習の手引き』をもとに通信教育部での学習の諸手続きやレポートの書き方を解説するものですが、もちろん在学生の方にご参加いただいても結構です。当日参加も可能ですが、可能ならば本冊子巻末の「学習ガイダンス・レポート学習会・学習相談会参加申込書」でFAX・郵送、または同様の内容を電子メールにてお申込みください。また、開始時間までにご来場ください。

会場地図については『試験・スクーリング 情報ブック2013』 p. 172～184をご覧ください。

開催日	時間	開催地	会場	会場地図
10/5(土)	10:30～12:30	仙台	東北福祉大学1号館2階121	p. 172
10/19(土)	14:00～16:00	仙台	東北福祉大学1号館3階131	p. 172
10/26(土)	10:00～11:30	盛岡	岩手教育会館 2階第1会議室	p. 177
10/27(日)	13:15～14:45	秋田	秋田県生涯学習センター 5階第3研修室	p. 178
10/27(日)	13:15～14:45	東京	工学院大学(新宿)中層棟 5階B-0563 ※オレンジ色のエレベータ をご使用ください。	p. 184
11/9(土)	14:00～16:00	仙台	東北福祉大学1号館2階122	p. 172
12/8(日)	14:00～16:00	仙台	東北福祉大学1号館2階122	p. 172

ごく短時間のものでありますが、web上でガイダンスが視聴できます。希望により視聴してみてください。

●通信教育部ホームページ <http://www.tfu.ac.jp/tushin>

上部2段目真ん中あたり「学習ガイダンス」をクリック→「動画版学習ガイダンス」(履修登録編)(単位修得編)が視聴可能

6 スクーリング受講者のための 専用レポート(別レポート)について

『学習の手引き』 p. 8～9記載のとおり、一部科目のスクーリング受講者に対し、2単位科目の2単位め、4単位科目の3・4単位めなど教員の指定する課題は『レポート課題集』記載のレポート(以下「通常のレポート」と呼びます)ではなく、別の課題(○×や記号で解答するような小テスト形式の課題などを予定;以下「別レポート」と呼びます)を提出して

もよいことになっています。

- (1) 別レポートの提出は希望者のみです。通常のレポート課題での学習と比べて、自身がやりたいと思う方を提出してください。ただし、別レポートはスクーリング受講後1カ月以内に提出してください。
- (2) 科目によっては、「TFUオンデマンド」(<http://www2.netrecorder.jp/tfu/login>)の画面上からレポートの解答(自動採点)ができる科目もあります。この場合の期限は別途定められます(例:本冊子p.53~54参照)。
- (3) 別レポートに該当しない課題は、『レポート課題集』記載の課題の解答が必要です。
- (4) 教職系科目やその他一部科目は「別レポート」の制度はありません。

7 印刷物訂正のお知らせ

●『学習の手引き』2013年版の修正点

- p. 15 お問合せ受付時間 水曜日は電話対応休止とさせていただきます。
- p. 132-133 産業カウンセラー受験資格 指定科目を履修し卒業後産業カウンセラー協会の実施する28時間4日間の「産業カウンセリング実習講座」の受講が必要に変更(産業カウンセラー協会ホームページ参照)。
- p. 112 (3)社会福祉士 取得希望者の体験学習の有料化=来年4月~
- p. 8 スクーリング受講者専用別レポートの郵送用配布物の有料化=来年4月~
- p. 105 「コミュニケーション障害教育」の科目名と領域の変更=平成28年4月~

上記3つの変更内容は、前号の『With』93号 p. 73・75・76など参照

- 『レポート課題集2013（社会福祉編）（心理・教職編）』 誤植・変更点やその他の『学習の手引き』2013年版の修正点
= 『試験・スクーリング 情報ブック2013』 p. 32～37のとおりです。

- 『試験・スクーリング 情報ブック2013』 誤植・変更点
 - p. 61・69 仙台会場「社会福祉援助技術演習A」
（変更前）H26 1/25・26 → （変更後）H26 4/12・13
締切は11月末で同じ
 - p. 58・69 10月末締切の11/30・12/1「社会福祉援助技術演習A」新潟会場
→ 募集中止（新潟会場での次回「演習A」の開講は来年6～8月頃を予定：締切来年5月末）。
 - p. 5 （誤）12/10(火)介護実習事前指導（1/12～14）申込締切
→ （正）1/11～13
 - p. 56 上から3科目め 社会福祉原論（職業指導を含む）
未定 秋田会場 → 8月に終了済

スクーリング・アンケートより(2)

●心理学実験Ⅰ・Ⅱ

- ・心理学は“心理の学問”ではなく“心の理学”というお話が印象に残っています。これまではレポート学習が主だったため心理学に対して何となく漠然としたイメージが多かったように思いますが、深く掘り下げていくことができたような気がします。
- ・実験中は“この実験が何の役に立つのだろう”と思うこともありましたが、レポートを作成してみると心理学のちゃんとしたデータとなっていることに驚きました。

●学習心理学

- ・記憶は覚えて使えることが前提。冷蔵庫に例えたお話がすごく分かりやすかった。
- ・興味をもてるように漫画や映画等、身近な例をあげていただき、すごく配慮のある進め方だったと思います。また、学者の写真や実験の動画など他の科目でも取り上げられていた内容でも見ていないものを見られて、このスクーリングを受講した甲斐がありました。
- ・セリグマンの実験で解決できない問題が生じたりすると身体的・感情的ストレスにさらされた結果、学習性無気力感に陥り、うつ病を発症することなどはコントロール感と健康がいかに大切か考えさせられました。

●知的障害教育

- ・実践ですぐに役立つ事例がたくさんあり、参考になりました。と同時に生活単元の授業で事例のようなことができたならとうらやましく感じました。阿部先生が子どもたちといきいきと過ごされた様子が目に浮かびこちらまで嬉しくなりました。

●精神保健福祉のサービス

- ・「障害者が住みよい街は健常者にとっても住みよい街である」常にハンディがある方々の視点からの制度づくり、物づくり等が大切であることが分かった。
- ・精神保健福祉士はサービスを知らなければ援助ができない。自分で知識を獲得していかなければならないと感じた。